しゃしんやさん

小川未明

青空文庫

あつい　日でした。正ちゃんは　あおぎりの　木の　下で、すべりだいに　のって　あそんで　いました。

そこへ、かみの　ながい　しゃしんやさんが　はいって　きて、

「ひとつ　うつさせて　くださいませんか。」

と　たのみました。この　しゃしんやさんは　きかいを　さげて、ごようを　ききに　あるくのです。

「子どもを　とって　もらいましょうか。」

と、おかあさんは　おっしゃいました。

「かしこまりました。」

しゃしんやさんは、正ちゃんを　すべりだいの　上へ　かけさせ、おねえさんに　ランドセルを　しょわせて、下へ　たたせました。

おねえさんは　小学一年生です。

「ぼっちゃん、お口を　ふさいで。」

と、しゃしんやさんが　いいますと、正ちゃんは、ああんと　口を　あけました。

「ぼっちゃん、いい　子ですから、わらって　くださいね。」

と、しゃしんやさんが　いいますと、正ちゃんは、したを　ぺろりと　だしました。

これを　みて　いた　おともだちは、正ちゃんの　わんぱくに　あきれました。

「正ちゃん　ごらんなさい、おねえちゃんは　おぎょうぎが　いいこと。」

と、おかあさんが　おっしゃいました。

「いいえ、ぼっちゃんも　おぎょうぎが　よろしいですよ。さあ、うつしますから。」

と、しゃしんやさんが　うつそうと　しました。

すると、正ちゃんは　するすると　すべりだいを　すべりました。

しゃしんやさんは　こまって　しまいました。

「この　つぎに　しましょうか。」

と、おかあさんは　おっしゃいました。

かんがえて　いた　しゃしんやさんは、すっかり　うつす　ようい　を　してから、

「さあ、おじょうさんも　ぼっちゃんも、ようく　おかあさんの　おかおを　ごらんなさい。」

と　いいました。

ふたりは、やさしい　おかあさんの　おかおを　みました。かたときも　わすれない　おかあさんだからです。

その　とたん、パチンと　音が　して、

「よく　とれました。」

と、しゃしんやさんは　あいさつを　いたしました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　16」講談社
　　1978（昭和53）年2月10日第1刷発行
　　1982（昭和57）年9月10日第5刷発行
入力：特定非営利活動法人はるかぜ
校正：Juki
2012年7月16日作成
2012年9月28日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

しゃしんやさん

小川未明

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/